

日 誌 (昭和60年 6 月)

【国 内】

- 1 日 ○円建 B A (銀行引受手形)市場創設
 ○ディーリング認可金融機関、日本相互証券(B. B.)へ参加
 ○証券会社、C Dの流通取扱いを開始
 ○証券会社、公共債を担保とする極度方式での貸付けを開始
 ○銀行等、公共債を担保とする総合口座及び極度方式による貸付けを開始
- 3 日 ○政府、政府保証債および公募地方債の発行条件を改定
 ○引受証券会社、事業債の発行条件を改定
- 5 日 ○金融制度調査会、「金融自由化の進展とその環境整備」を大蔵大臣に提出
- 14 日 ○経済企画庁、昭和60年1～3月期の国民所得統計速報を発表(1～3月期の実質国民総生産は前期比+0.1%)
- 17 日 ○短資会社、5、6か月物手形の取扱いを開始
- 22 日 ○竹下大蔵大臣、外国銀行の信託業務参入について、申請中の9行全部を認める旨表明
- 24 日 ○「国債整理基金特別会計法の一部を改正する法律」等、関連3法成立
 ○大蔵省、在日外銀6行に対し、国債等公共債の窓販業務を認可

【海 外】

- 9～10日 ○イタリア国民投票、政府の賃金政策を支持
- 10日 ○タイ、商業銀行の最高貸出金利を引下げ
- 13日 ○ニュージーランド、85/86年度予算案を発表
- 17日 ○台湾、公定歩合および市中金利を引下げ
- 18日 ○米国大手商業銀行、プライム・レートを引下げ(10.0→9.5%)
- フランス政府、85年改訂経済見通しおよび86年暫定経済見通しを発表
- 20日 ○韓国、特別低利融資の再開を発表(7月1日より実施)
- 24日 ○香港、預貸金金利を引下げ
 ○マレーシア、商業銀行の基準貸出金利を引下げ